

町の考えを問う!!

令和4年4月に閣議決定された「新型コロナウイルスコロナウイルス感染症対応地地方創生臨時交付金」の（原油価格物価高騰対応分）実施と予算組み替えが行われた。
重点施策の質疑内容です。

運送事業者等原油高騰対策支援事業

コロナ禍の長期化による人流抑制に加え、燃油高騰によって影響を受けている運送事業者等の事業継続を支援する。

議員

収入減少等の支給条件はあるか？

課長

条件はない。

議員

中小零細企業はほぼ打撃を受けている。特に工場で重油取扱いの多い企業などの他の業界の支援策の考えは？

課長

今回の補正予算ではないが、今後の動向を注視していきたい。

農業経営収入保険支援事業

コロナ禍の長期化による農業経営リスクの軽減を図るため農業共済組合が行う収入保険制度への加入者に対し保険料の2分の

1の支援を行い農産物生産者の事業継続を支援する。

議員

保険加入者と未加入者で不公平感はないか？

課長

町も推奨しており説明に努める。

議員

今回の対策と保険支援は意味合いがちがうのでは？

課長

南筑後広域で進めている事業で対象とした。

肥料高騰緊急対策支援事業

コロナ禍による原材料や輸送コストの高騰などの影響により農業生産に必要な肥料等の値上がりが続いている。コスト上昇分について国・県の事業の上乗せ支援を行う。

議員

農業者は色々な肥料を使用しているが、全ての肥料が対象なのか？

課長

町内の肥料業者の納品が対象になる。

保育所等給食支援事業

コロナ禍における原油価格・物価高騰対策として給食に係る材料費高騰分を助成することで、これまで通り栄養バランスや量を保った給食の実施や保護者負担の軽減をはかるもの。補助対象は町内の認可保育園6園、補助額はひと月当たり550円×園児数。

議員

物価高騰の原因は、コロナだけでなく社会情勢にもある。物価高は、今後も続くと推測するが、給食費のあり方をどう考えているか。

課長

今回の保育所給食も、もちろん学校給食も今後、高騰分については助成をするが、来年度以降については検討していない。その時々为社会情勢を鑑みて適切に対応してまいります。しかし申し上げられないが、極力、保護者の負担にならないような方針、方向性で進めたいと考えている。

交通系ICカード（nimoca）の整備

交通系ICカードnimocaを整備する堀川バスに対し、国土交通省及び関係市町が、支援することで接種機会の低減対策をとり、コロナ感染防止対策を図るもの。

議員

堀川バスでは、今までもICカードが使えなかったのか。これで、一般に通っている路線バス、堀川バスの路線バスについて、全社整備ということか。

課長

nimocaは西鉄の完全子会社が、運営しているカードで、当然西鉄バスには既に整備をされている。また、全国の各駅や、商業施設でも利用できるカードとなっている。堀川バスは、現在、現金のみであり、初めて整備されるもの。